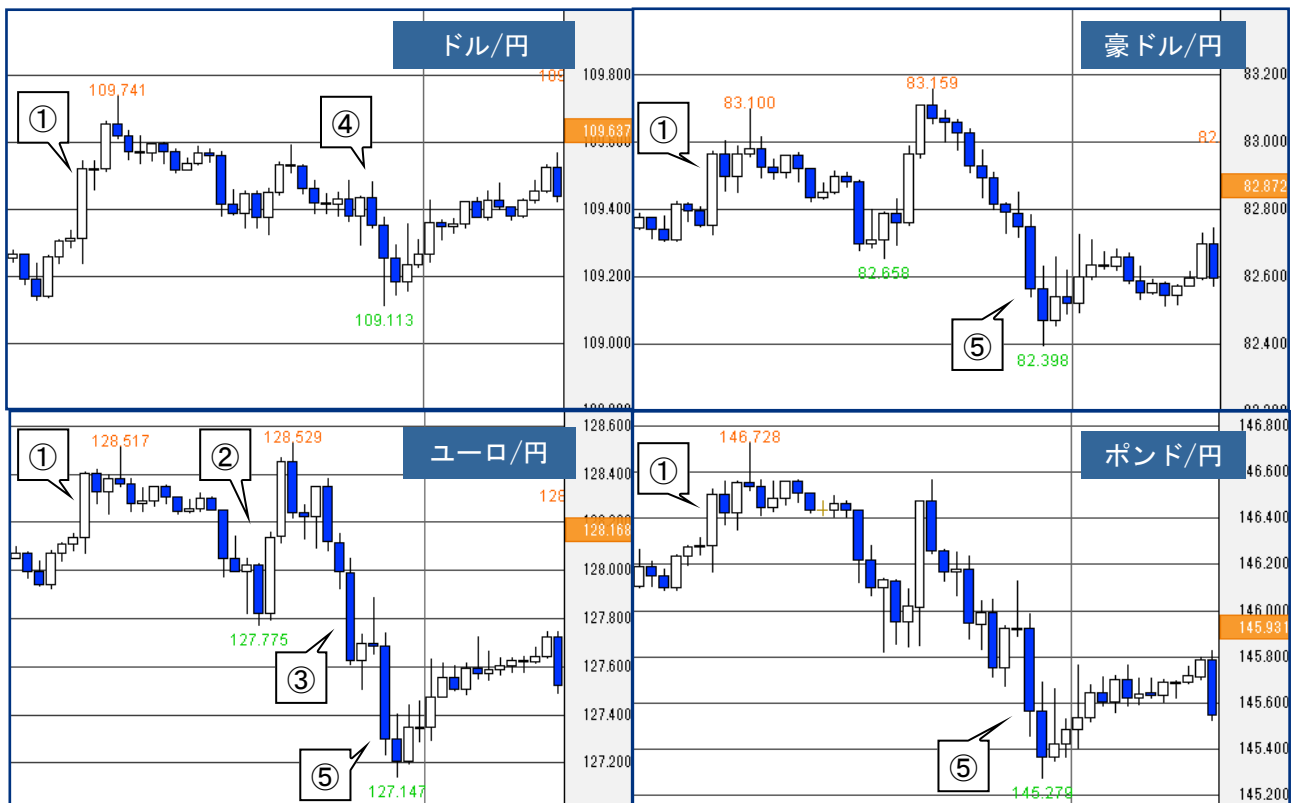


5月28日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

北朝鮮リスクが緩和

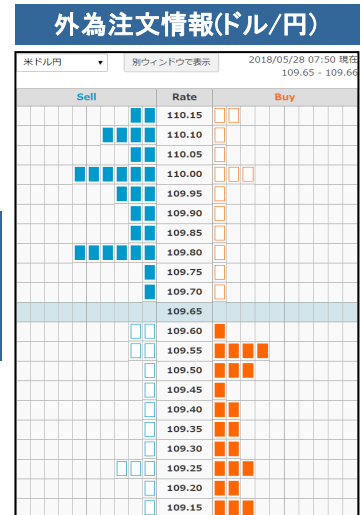
25日(金)の為替相場



期間：25日(金)午前6時10分～26日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 前日にトランプ米大統領が米朝首脳会談の中止を表明した事を受けて、北朝鮮の金外務次官は「いつでも、どのような形であっても米国と対話する用意がある」と発言。これを受けて北朝鮮情勢に対する過度な懸念が和らぐと円売りが優勢となった。なお、その後トランプ米大統領は、「(北朝鮮の声明は)とても良かった。これからどうなるか、様子見た。12日さえあり得る。いま向こうと話しているところだ。向こうはとてもやりたがっている。こちらやりたいと思っている」と述べ、当初の予定通り6月12日に会談する可能性に含みを持たせた。
- ② 独5月IFO景況感指数は102.2と市場予想(102.0)を僅かに上回った。なお、IFO経済研究所の所長は「低下トレンドは止まった。ドイツ経済は難しい国際情勢の中、順調に推移している」との見解を示した。
- ③ イタリアの次期連立政権による財政拡大懸念や、ラホイ・スペイン首相への不信任案提出を嫌気して、ユーロが下落。なお、その後格付け会社ムーディーズは、イタリアの格付けを引き下げ方向で見直すとの方針を明らかにした。また、27日には、イタリアのマッタレラ大統領がユーロ懐疑派の経済相への起用を拒否した事で、次期首相候補が組閣を断念。再選挙の可能性が浮上したと報じられた。
- ④ 米4月耐久財受注は、前月比-1.7%と、市場予想(-1.3%)を下回ったが、ブレが激しい輸送用機器を除いた受注額は、前月比+0.9%と市場予想(+0.5%)を上回る伸びとなった。
- ⑤ サウジアラビアとロシアが原油協調減産の緩和を協議と報じられNY原油先物が大幅に下落する中、エネルギー株主導で米国株が下落すると、クロス円を中心に円買い圧力がかった。

25日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22450.79 △13.78	6032.824 ▼4.257	3141.303 ▼13.348	7730.28 △13.54	12938.01 △82.92
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24753.09 ▼58.67	0.0410% ▼0.0080	2.786% ▼0.019	1.322% ▼0.079	0.406% ▼0.066
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.4758% ▼0.0322	2.9313% ▼0.0457	67.88 ▼2.83	1309.00 ▼0.80	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	109.200-110.100	127.600-128.700	82.500-83.500	145.300-146.600

【ドル/円】

25日のドル/円は小反発。NY市場では、原油安・株安・債券高(長期金利低下)という逆風に晒されたが、109.10円台で下げ渋ると終盤にかけて109円台半ばへと持ち直した。週初の高値から2円超下落していた事もあって英米の3連休を前にショートカバーが入りやすかったと見られる。なお、今朝のオセアニア市場では、米朝首脳会談が当初の予定通り来月12日に行われる可能性が高まった事で109円台後半まで上昇している。

本日のドル円は、英米が祝日のため動意は限られる公算ながら下値は堅そうだ。20日移動平均線が通る109.80円台を突破できるかが、ひとまずの焦点となろう。ただ、その上の110.10-20円前後には、日足・一目均衡表の転換線と200日移動平均線が控えており、上値抵抗となりそうだ。

執筆者: 神田

本日から明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
5/28(月)	未定		(日) 森友・加計問題、国会集中審議	—	—
	16:00		(ユーロ圏) ビルロフ仏中銀総裁、講演	—	—
	22:00		(独) メルケル首相、講演	—	—
5/29(火)	08:30		(日) 4月失業率	2.5%	2.5%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。

Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com